

## ●●はぐくむ●●

## 東工大オープンキャンパスを終えて ～こんなところにアルミニウム～ Report on Tokyo Tech Open Campus “Here is Aluminum”

村石 信二  
Shinji MURAISHI

東京工業大学のオープンキャンパスは、2014年に工大祭とは独立して開催されるようになって今年で第6回目を迎えた。今年のオープンキャンパスは8月10日の土曜日に開催されたこともあり、学生とともに多くの保護者の参加があった。近年では大学オープンキャンパスに複数回参加することが高校生の夏休み中の課題にもなっているようで、大学広報によると東工大のオープンキャンパスへの参加人数は昨年の1万2千人から増えて1万5千人超とのことであった。大学最寄りの大岡山駅前交差点も早朝から大変な混雑ぶりであった(図1)。

来訪者の多くは、部局ごとに開催される入試説明会・模擬講義を軸にして実演・展示の研究室企画を訪れているようであり、筆者の所属する物質理工学院・材料系でも80近い実演・展示を準備して、教員・学生・事務職員が総出でオープンキャンパスに対応している。

真夏に開催されることもあって、建物内は高校生の凄まじい熱気で溢れており、例年実施する側も見る側も体力勝負となっている。熊井・村石研究室では、例年電磁接合の説明・実演が大人気で(20分/入替制)、今年も熊井真次先生が高校生向けに対応した。

事前予約が必要な全学説明会や模擬講義は午前、研究室の実演は午後企画されるケースが多く、昨年まで午前中の企画数が少ない傾向にあったので、今年は誰でも立ち寄れる展示室を新たに企画した。幸い軽金属学会から製品貸与・貸与の恩恵に与り、講義室の一部屋を使ってアルミニウム展示室を公開することができた。アルミニウム展示室を準備するにあたり、軽金属学会や日本アルミニウム協会の高中生・低年齢層向けコンテンツが大変役立った。日本アルミニウム協会の刊行物であるアルミエージ、アルミなるほどミュージアムの冊子100部を配布するとともに、掲載資料の一部を説明用ポスターに引用させていただいた。

午前は私、午後は原田陽平先生が説明担当した。午前10時の開場直後から見学者が絶え間なく、午前中だけでも500人程度が展示室を訪問した。アルミニウムの電気精錬、重量比較サンプル(マグネ、アルミ、チタン、鉄)、缶材、ハニカム材、電解着色材などの製品を興味深そうに触れ、我々の説明に頷いていたのが印象深かった(図2)。

今回のアルミニウム展示室は初めての企画だったが、受付



図1 オープンキャンパス当日の大岡山駅前の様子

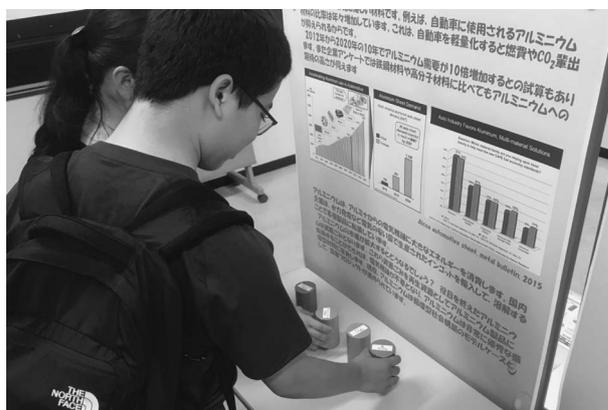


図2 研究室企画に最初に訪れた見学者の様子

け階段を昇った目の前の好立地であったことが幸いして、午前・午後を通じて予想以上の大盛況となった。是非来年の展示室では、ビデオ上映、大型貸与製品の展示などにもチャレンジしてみたいと思う。

### 謝辞

最後に、アルミニウムの製品貸与・供与でお世話になった一般社団法人軽金属学会、一般社団法人日本アルミニウム協会、日本軽金属株式会社、三協立山株式会社、UACJ株式会社、関係各位に厚く御礼申し上げます。